

フィンネットワーク通信

2016年2月号

こんにちは！
フィンネットワークの赤木広紀です。

暖冬と言われていましたが、南国の沖縄や奄美大島にまで雪が降るくらい、一転して寒波が日本中にやってきました。



ようやく冬らしい冬になったともいえますが、春の暖かさが今から待ち遠しくなります。

植物が春に芽を出し、花を咲かせるために、この時期に地面の下で着々と準備しているように、私達も作り出したい成果のために、目に見えないところでやることを地道にやっていきたいですね。

それでは今月もよろしくお祈りします！

「至福」を生きる人に触れると・・・

前回、ご紹介した神話学者、ジョセフ・キャンベルがテレビやラジオのインタビューでよく語っていたフレーズに、

『Follow your bliss (あなたの至福に従いなさい)』

というのがあります。

至福とは「この上もない幸せ」と辞書では説明されていますが、キャンベルが言っているのは、もちろん、単に美味しいものを食べたり、温泉に浸かって「ああ～幸せ～」という以上のものですね。

かつて、この「至福」を生きている人と出会ったことで、人生が大きく変わった。そんな体験をしたことがありました。

大学生のとき、短い期間ですが、通販会社の倉庫でアルバイトをしていたことがあります。

そこで知り合った少し年上の先輩が、毎日、プールに泳ぎに行っているという話をいつも楽しそうにしていました。



ああ、この人はきっと昔から泳ぐのが好きで、今も続けているんだなあ。そう思って、「小さい頃から泳いでいたんですか？」って聞いてみたんですね。

そうしたら、「いや、2年ほど前から」と意外な返事が。

ビックリして「えっ、大人になってからなんですか？」と聞くと、「そうだよ。スイミングスクールに通ってね。」と、サラッと答える彼。

「どうして、大人になってから習おうと思ったんですか？」と、私。

すると、一言、

『オレ、泳げなかったし、泳げるようになりたかったから』

実は、私も小学生のときにスイミングスクールに通っていたのですが、息つきがちゃんとできる前に辞めてしまったので、25メートルも泳げなかったんですね。

幸い、中学、高校とプールがなかったため、体育の授業で困ることもなかったのですが、「もうずっと泳げないままなんだろうな」と諦めていました。

でも、そのバイトの先輩が言った『泳げなかったし、泳げるようになりたかったから』というあまりにも純粋な気持ちに心打たれて、僕も本当は泳げるようになりたいんだ！という本心を思い出したのです。

そして、近所のスイミングスクールに、もう一度、習いに行くことにしました。

おかげで今では、バタフライ以外は体力の続く限り、泳げるようになりました。(ちなみに今、そのスイミングスクールに娘が通っています。娘はバタフライも泳げるようになったので、「パパよりも上手でしょ」とドヤ顔で勝ち誇ったように言ってきます(笑))

純粋な喜びから生きている人、「至福」に生きている人に実際に触れると、ノウハウやテクニックを超えた次元で、あなたの中にある魂が揺り動かされ、あなたを至福の道へと導いていきます。

自らが「至福」に生きることで、周りの人が自然と自分自身の「至福」を生き始める。

そんな存在でありたいなって思います。

次はアミーゴのコーナーですよ！→

アミーゴのゆるめる毎日

ファインネットワーク “福” 社長の朝比奈です。

若者の読書離れが叫ばれる昨今ですがわが8歳の娘には、空前の読書ブームが訪れてます。

学校の図書室で借りてきた本を、その日のうちに読み終わり、翌日に別の本を借りてきて、寝る間を惜しむがごとくの毎日です。

私も夫も読書好きで、家にはここかしこに、読みかけの書籍が置いてはあります。その影響もあるかもしれません。

しかし、娘もここ数ヶ月前までは、読書にほとんど興味をもたず、せいぜい月に1冊読むか読まないかでした。

何が彼女をそうさせたのか・・・

「今まで紙の本ってなんかイヤだったけど、アレのおかげで、紙のも読むようになってん」



指差すのは、電子書籍！！

正確には進研ゼミのタブレット版である、チャレンジタッチなのですが。

これは、紙の教材をデジタル化した、進研ゼミ専用端末です。チャレンジタッチのサービスの中に、電子書籍読み放題があるのです。(その数100冊以上！)

昔なつかしの江戸川乱歩や赤毛のアンから、いまどきのラノベまで勢揃い。

私自身は手触りを感じられる、紙の本の方が好きなのですが。

幼い頃から、親が使うスマートフォンなど電子機器が身近にあったせいでしょうか。娘は電子書籍に、すんなりなじみました。

活字に触れる面白さを知り、紙の本にもようやく興味を持ち始めたようです。

親としては、本好きであって欲しかったワケですが、何がきっかけになるかは分からないものですね。

娘のように「本は電子機器で読む」のが当たり前の世代が大人になる頃には、出版関係も大きく変わっているのでしょうか・・・。



ただ、本好きといっても、必ずしも親の希望と一致しているワケではありません(笑)。親は「こどもにつたえる! ブッダのおしえ」みたいな、文部省推薦的なものを読んでほしいのですが。

娘が一番萌えているのは、瞳キラキラな、かる〜い学園恋愛ラノベです。

私が小学生の頃は、ひたすらマンガばかり読んでいたので、娘には何も言えません。こんな私でも、大人になって本好きになれました。娘はどうなるのでしょうか？

はじめての体験



オススメ・・・ってワケではないので、とある初体験についてお話ししましょう。

先月号で、ひじを痛めた(テニス肘)のことを書きましたが、鍼灸院でもらったアルコトを、自宅でもやってみました。

お灸

未体験のときのイメージは、あつそーで、いたそーでしたが。体験してみても、まさにその通りでした(笑)

私は初心者用お灸を買ったのですが、それでも火をつけると熱いのなんのって(苦笑)

ただ、終わったあとはポカポカ温まり、ひじの痛みが緩和されるのです。

やり方は説明書にも載ってますが、患部にお灸を乗せて、火をつけるだけ。モーモーと煙が漂ったあと、くすぼった火が消えたら終了です。

(火の取り扱いにはくれぐれも注意ですが)

背中とかでなければ、自分一人で出来ます。ただし難点は、とにかく部屋中が煙くさくなるので、誰彼なしにオススメできるものではありません。

とはいえ、一度でもお灸を体験してみて効果が分かる人なら特に、自宅でやってみる価値はあるでしょう。

100個入りで700円前後で買えるので、鍼灸院でやってもらうよりは、はるかにリーズナブルかと思えます。



ファインネットワーク通信

発行者：赤木広紀・朝比奈映未

〒602-0853

京都市上京区宮垣町 94-102

TEL：075-951-6310

HP <http://www.finenetworld.com>

Facebook <https://www.facebook.com/finenetworld>

